

<目を覚ましていなさい>

マルコ13:28~37



イエスさまの口から「世の終わり」について語られた。

一般的・・・「世の終わり」は暗いイメージがある。

聖書・・・「世の終わり」は「神の国の完成」の始まりに向かっている。

人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられましたが、二度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。ヘブル9:27. 28

1 度目の到来の目的

私たちの罪を取り除くためにご自分をいけにえにするために現れた。

2 度目の到来の目的

罪を負うためではなく、イエスさまを救い主と信じた人々を迎えるために来られる。

主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることになります。I テサロニケ4:16、17

いつ起こるのか？

いちじくの木から、たとえを学びなさい。枝が柔らかくなって、葉が出て来ると、夏の近いことがわかります。そのように、これらのことが起こるのを見たら、人の子が戸口まで近づいていると知りなさい。 【28、29節】

その時がいつかは誰も知らない！

ただ父だけが知っておられます。気をつけなさい。

「目をさまし、注意していなさいその定めの時がいつだか、あなたがたは知らないからです。

それから丁度、旅に立つ人が、出がけに、しもべたちにそれぞれ仕事を割り当てて責任を持たせ、門番には目を覚ましていように言いつけるようなものです。だから、目をさましていなさい。

家の主人がいつかえて来るが夕方か、夜中か、鶏の鳴くころか、明け方か、わからないのです。主人が不意に帰って来たとき眠っているのを見られないようにしなさい。わたちがあなたに話していることは、すべての人に言っているのです。目をさましていなさい。」 【32～36節】

「目を覚ます」・・・ alert・警告・警報

keep watch.・見張りを続ける、張り込む、監視する

I say to everyone: ‘Watch!’”

油断せずに祈りなさい！

あなたがたの心が、放蕩や深酒やこの世の煩いのために沈み込んでいるところに、その日がわなのように、突然あなたがたに臨むことのないように、よく気をつけていなさい。その日、全地の表に住むすべての人に臨むからです。しかし、あなたがたは、やがて起ころうとしているこれらすべてのことからのがれ、人の子の前に立つことができるように、いつも油断せずに祈っていなさい。

ルカ21：34～36